

平成 28 年度長崎大学がんプロ養成基盤推進プラン在宅・地域医療実習

実習生：行徳 宏

実習先：安中外科・脳神経外科医院

白髭内科医院

出口外科医院

たくま医院

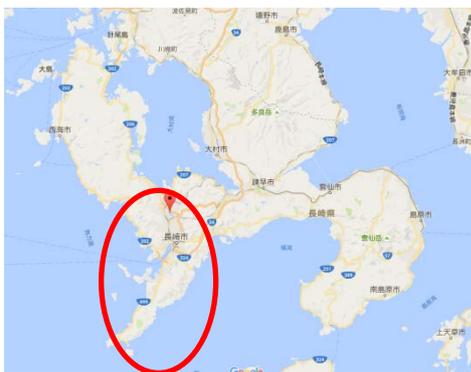
実習期間：平成 28 年 10 月 3 日（月）～10 月 28 日（金）

実習生感想：

在宅・地域医療実習を終えて

日頃は肺癌、誤嚥性肺炎、その他呼吸器疾患を診療しており、ターミナル期や寝たきりの患者さんを診療することが多い。いざ治療して退院となったときに病院にするのか、施設にするのか、在宅にするのかといったことを考える。ソーシャルワーカーさんが患者さんや紹介先と上手にコミュニケーションをとって調整してくれることが多いが、今回の実習で主治医としてより在宅という選択肢をアドバイスできるようになったと思う。とても熱心で優秀な在宅の先生が長崎に多くいることがわかり、より連携をとって診療できればと思う。

安中外科・脳神経外科医院（10/3.7.17）



1人で往診バッグを抱えて広範囲に、多くの患者さんを回っていた。ほぼ毎日平均 60 km/日の走行で、21 か月で走行距離 4 万 5 千 km 往診されているとのことだった。カルテを持参

しなかったが患者さんを家族背景までよく把握されていた。診察、定期的な血液検査に加えて気兼ねない雰囲気です世間話をしてコミュニケーションをよくとっていた。カルテは翌日病院でまとめているとのことであった。広範囲に多くの患者さんをみるための診療スタイルを確立されていると感じた。小児、神経疾患多数、悪性疾患多数と多くの疾患に渡っていて驚いた。小児やターミナル期の患者さんには親身になっていることがよくわかった。台風のとくに、在宅の医療機器が停電しないかという事まで心配されていた。多くの患者さんを回り、とても忙しいと感じたがまだ余力があるとのこと驚いた。東京の有名な病院での生活スタイルのまま、活動的に診療、勉強を継続されているのが良く分かった。

白髭内科医院 (10/11.14)



10人/日ほど午後より診療した。現在は全部で50人ほど在宅の患者さんがいるとのことであった。電子カルテを往診先まで持参されて丁寧に記録をとって診療されていた。悪性疾患、高齢者などを多く診療した。個人的には同じオンコロジストとして、白髭先生の癌センターや海外への留学などの経験を聞けておもしろかった。

隣には特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービスの施設が併設されており見学させてもらった。何かの際は夜間でもすぐに対応をしてくれて安心とコメディカルスタッフの信頼も厚かった。最後にレクチャーもして頂きとても勉強になった。海外との比較や今後の死亡人口の増加を踏まえて施設や在宅での終末期医療を進める必要があると感じた。白髭先生達の作った先進的なDr ネットがより進歩し長崎の在宅医療を円滑にしているのがわかった。今でも学会発表や講演会を続けており、その姿勢を見習いたいと感じた。

出口外科医院 (10/19.20)



2日で腭癌、悪性リンパ腫、胃癌、多発性硬化症の患者さんなどを回った。悪性リンパ腫や胃癌の患者さんは初回の訪問でありどのように関係をスタートさせるのかを実際に見ることができてとても勉強になった。病院と違い自宅で自分の趣味や生き立ちなどを話す患者さんをみるとその人生をよりレスペクトすることができた。また、話もとてもおもしろかった。病院で病状しか聞く時間のない医療とは違い、より患者さんと近くで診療できる在宅医療の魅力を感じた。初対面に関わらず、患者さんの背景まで上手に聞いて関係を作っていく雰囲気づくりに出口先生の人間性を感じた。また、今後の厳しい状況についても上手に話をされ、選択を聞いていく会話もとても勉強になった。普段の診療では忘れがちだが、病気だけでなく患者さん全体をみることの大切さを感じた。

たくま医院 (10/24.25.28)



多職種連携を推進するあじさいネットで広報を担当されており、Dr ネットやその他県内で行われている地域包括ケアについてわかりやすく指導して頂いた。医師会の講演会に参加することもでき、訪問看護やケアマネさんについて知識が深まった。講演会でよくみか

ける県内の先生方の似顔絵がたくま先生のものであることを知って、プロ顔負けの出来栄で驚いた。最初外来を見学後に往診に回った。外来では患者さんと本当に親しく話をされていて町医者の良さをすごく感じた。この関係性のまま在宅医療に移行することが理想の形であると感じた。その後、癌のターミナルの患者さんの往診に同行することもできた。癌のターミナル期でも付き添っている家族が明るかったこと、患者さんが穏やかに過ごされていることに驚いた。多くの患者さんが病院で最後を看取ることを見直す必要性を感じた。深堀町より南の広範囲を休日返上で往診されており、まだまだ在宅医の不足を感じた。病院でも往診部門を作ることは今後積極的に考えても良いと感じた。

どの先生も人間性や活動的な生き方がとても刺激になった。また自分が見てほしい、患者さんを紹介したいと思う素敵な先生だった。24 時間拘束の状態で親身に診療しているのがわかった。安中正和先生、白髭豊先生、出口雅浩先生、詫摩和彦先生、忙しい中本当にありがとうございました。この経験を今後の診療に活かしたいと思います。今後もよろしくお願い致します。



実習報告会にて